

はじめに

道では、将来の建築技術者となる若年層の育成などを図るため、建築を志す道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で28回目となります。

今年度は、北海道の気候風土に適した質の高い住宅として、道が普及を進める北方型住宅を設計課題とし、南幌町にある「きた住まいるヴィレッジ」で、家族でのびのびと子育てを楽しめる庭付き一戸建て住宅の計画を募集したところ、5校62人から49作品の応募がありました。

応募いただいた作品は、南幌町の豊かな自然環境を生かした敷地計画や子育て世帯に配慮したプランなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

参加いただいた全ての皆様にとりまして、このたびの経験が、将来に向けて貴重な財産になることを期待しております。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている（公社）日本建築家協会北海道支部、（一社）北海道建築士事務所協会、（一社）北海道建築士会の皆様には、多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、応募いただいた皆様には、引き続き建築の勉強に励まれ、将来、建築技術者として活躍されることを心よりご期待申し上げます。

令和6年2月

北海道建設部建築企画監 細谷 俊人

審査講評

「高校生建築デザインコンクール」は、建築系学科を設置している道内の高校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物などのデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰するものです。

今年度は、「きた住まいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅」を設計課題として募集したところ、49作品の応募があり、多くの関係者の多大なご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛況に開催することができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、きた住まいるヴィレッジのデザインルールを踏まえ、周辺環境を活かしながら、楽しさあふれる斬新なデザインや若々しく独創的なデザインなど、屋内外ともまとまった高校生らしい発想力や表現力豊かな作品が数多く見られました。

審査にあたっては、主に「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」、「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」、「立地条件を活かしているか」、「きた住まいるヴィレッジのデザインルールに沿っているか」といった観点から、選定委員が評価し、厳正な審査の結果、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定しました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれた多くの提案がありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和5年度高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 鈴木 伸広

令和5年度高校生建築デザインコンクール入選者一覧

最優秀作品賞(1作品)	佳作(4作品)
津川 楓 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)	瀧野 伯哉 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)
	葛西 真帆 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
	小野寺 咲来 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
	伊賀 翔 (北海道帯広工業高等学校 3年)
	伊藤 一心 (北海道帯広工業高等学校 3年)
	山本 龍正 (北海道帯広工業高等学校 3年)
	中地 琉生 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
	中村 涼太 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
優秀作品賞(3作品)	特別賞(2作品)
尾崎 利允 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)	大光 明音 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)
北田 秀明 (北海道名寄産業高等学校 3年)	岩橋 七美 (北海道帯広工業高等学校 3年)
橋本 陽南太 (北海道名寄産業高等学校 3年)	
川上 遥斗 (北海道名寄産業高等学校 3年)	

令和5年度高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

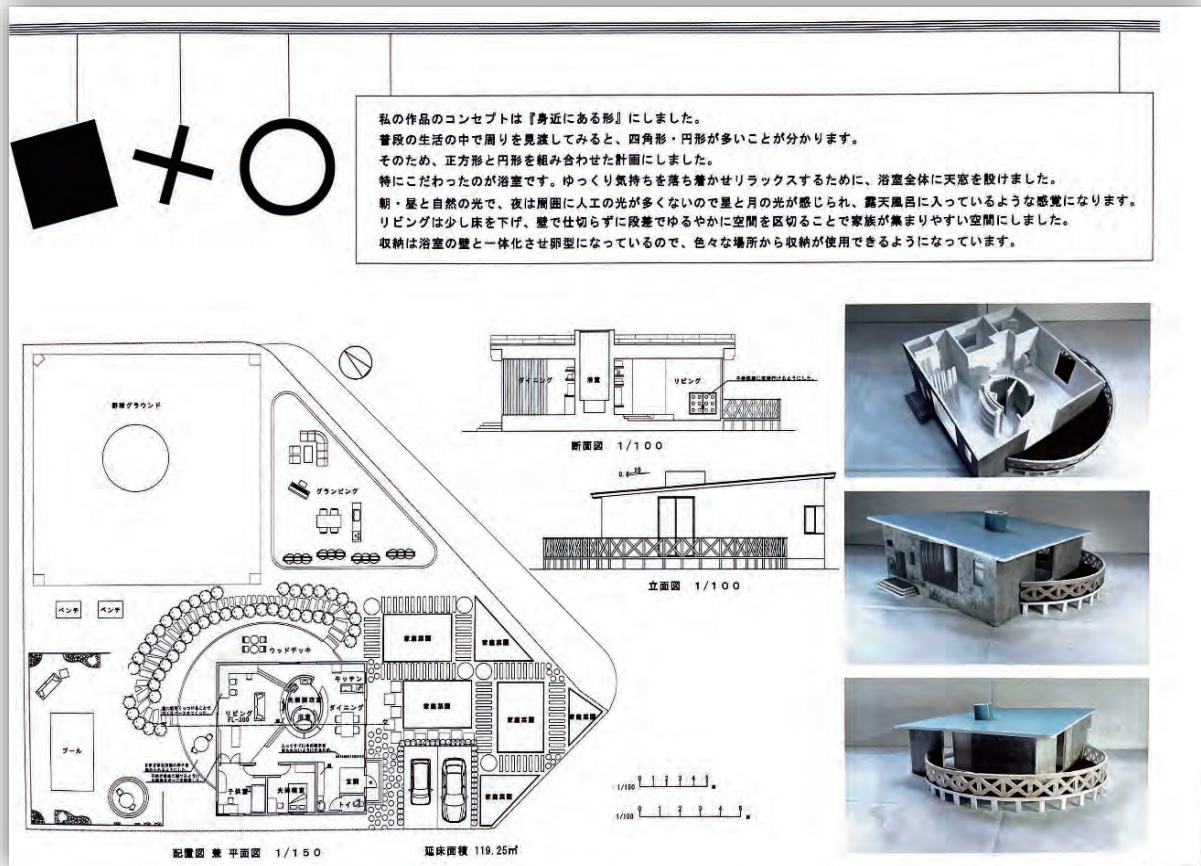
- 1 課 題 「きた住まいるヴィレッジに建つ、子育てが楽しくなる北方型住宅」
自然豊かな南幌町で、地域に根ざし、家族でのびのびと子育てを楽しむことができる北方型住宅を提案してください。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判(420mm×594mm)横置き1枚片面に下記の図面等を全て描くこと
(1) 作品タイトル
(2) 設計主旨
(3) 配置図・平面図 1/100～1/150
(4) 断面図 1/50～1/100
(5) 立面図 1/50～1/100（1面）
(6) スケッチ又は模型写真又は透視図
(7) 面積表
- 4 応募作品 49作品（62名）
- 5 入選作品 最優秀作品賞1作品 ・優秀作品賞3作品 ・佳作4作品 ・特別賞2作品
- 6 経 過 募集要項配布 令和5年 7月 5日
作品受付 令和5年11月30日まで
選定委員会 令和5年12月15日
作品展示 令和6年 1月 7日
- 7 選定委員 鈴木 伸広 （北海道建設部建築局建築整備課長）※委員長
赤坂 真一郎 （公益社団法人日本建築家協会北海道支部 副支部長）
松田 真人 （一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長）
松本 純 （一般社団法人北海道建築士会 まちづくり委員会 副委員長）
相馬 利幸 （北海道教育庁学校教育局高校教育課長）



入賞作品

最優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
津川 楓(3年)



作品名「■×○」

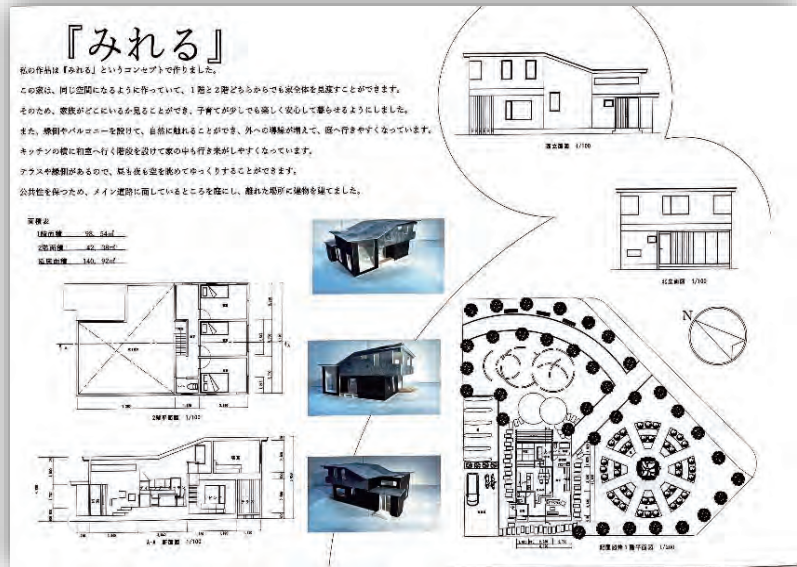
設計主旨

私の作品のコンセプトは『身近にある形』にしました。
普段の生活の中で周りを見渡してみると、四角形・円形が多いことが分かります。そのため、正方形と円形を組み合わせた計画にしました。
特にこだわったのが浴室です。ゆっくり気持ちを落ち着かせリラックスするために、浴室全体に天窓を設けました。朝・昼と自然の光で、夜は周囲に人工の光が多くないので星と月の光が感じられ、露天風呂に入っているような感覚になります。
リビングは少し床を下げ、壁で仕切らずに段差でゆるやかに空間を区切ることで家族が集まりやすい空間にしました。
収納は浴室の壁と一体化させ卵型になっているので、色々な場所から収納が使用できるようになっています。

審査講評

天空光の入る浴室を中心に、立体的なパブリックスペースを移動できる斬新なデザインが評価された。
また、敷地計画も豊かであり、ダイニングと菜園、リビングとデッキというつながりも評価された。

優秀作品賞



北海道小樽未来創造高等学校
尾崎 利允(3年)

作品名「みれる」

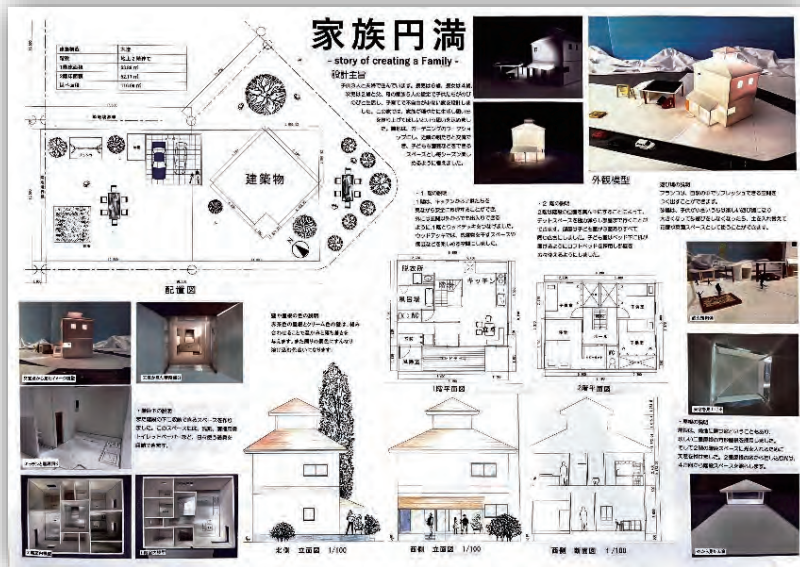
⑤ 設計主旨

私の作品は『みれる』というコンセプトで作りました。
この家は、同じ空間になるように作っていて、1階と2階どちらからでも家全体を見渡すことができます。
そのため、家族がどこにいるか見ることができ、子育てが少しでも楽しく安心して暮らせるようにしました。
また、縁側やバルコニーを設けて、自然に触れることができ、外への動線が増えて、庭へ行きやすくなっています。
キッチンの横に和室へ行く階段を設けて家の中も行き来がしやすくなっています。
テラスや縁側があるので、昼も夜も空を眺めてゆっくりすることができます。
公共性を保つため、メイン道路に面しているところを庭にし、離れた場所に建物を建てました。

⑥ 審査講評

屋外空間とのつながりが良く、スキップフロアによる高さの変化や一体化のユニークさと若々しいフォルムが評価された。
また、敷地計画も良く、メイン道路への配慮も評価された。

優秀作品賞



北海道名寄産業高等学校
北田 秀明(3年)
橋本 陽南太(3年)

作品名「家族円満-story of creating a Family-」

⑤ 設計主旨

子供3人と夫婦で住んでいます。
長男は6歳、長女は4歳、次男は2歳と父、母の5人の設定で子供たちがのびのびと生活し、子育てで不自由が少ない家を設計しました。
この家では、家族が穏やかに生活し思い出を作り上げてほしいという思いを込めました。
隣地はガーデニングのワークショップにし、近隣の親たちと交流でき、子供も園芸などをできるスペースとし、毎シーズン楽しめるように考えました。

⑥ 審査講評

コンパクトなプランで細部までまとまった提案がされており、現実的で景観的にも良い点が評価された。
また、トップライトが中心に光を与え、内外のつながりを表現している点も評価された。